

2022年3月2日

各位

三井住友信託銀行株式会社

社会課題解決や地域社会への貢献に向けた  
慶應義塾大学先端生命科学研究soとの包括連携協定の締結について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、本日、慶應義塾大学先端生命科学研究so(所長:富田 勝、以下「慶大先端研」)との間で、社会課題の解決や地域社会への貢献を図ることを目的に、包括連携協定を締結しましたことをお知らせします。

当社は「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に掲げ、専門性の高い信託の機能を存分に活用し、社会課題解決型の新たな金融仲介、地域経済エコシステム構築への貢献を目指しております。

慶大先端研は、山形県や鶴岡市との連携のもと慶應義塾大学として初めて首都圏以外に設立された鶴岡タウンキャンパスの中核施設であり、世界最先端のライフサイエンス研究を行いながら、教育や人材育成にも力を入れることで、地域社会への貢献を目指されております。

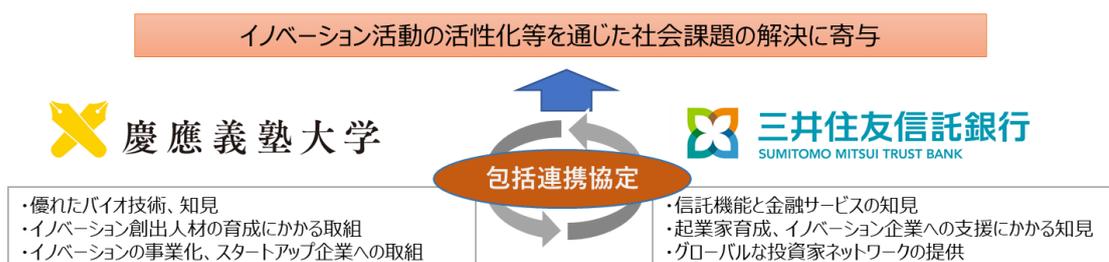
今般、当社と慶大先端研とが連携し、イノベーション創出人材の育成を中心とした共同研究を行っていくことで、双方の目指す姿の実現に資するものと判断し、本協定を結ぶに至りました。

当社と慶大先端研は、保有する資源を相互に有効活用し、イノベーション活動の推進、産学連携の活性化による社会的価値創出等を通じ、地域社会、社会課題の解決に貢献していきます。

<本協定の内容>

- (1) イノベーション創出人材の育成及びイノベーションの事業化プロセスの研究に関する事項
- (2) 慶大先端研、当社、相互のネットワークを活用した、産学連携による社会的価値の創出に資する事項
- (3) 信託や金融スキームを活用した研究実装化・事業化に向けた取組の促進に資する事項
- (4) 産業創出等による地方創生、地域社会の活性化に関する事項
- (5) その他、慶大先端研及び当社の協議により必要と認められる事項

<包括連携協定のイメージ図>



以上